

令和5年度 第1回たつの市行財政改革推進委員会

－ 会議録 －

日 時：令和5年7月13日（木）午前10時～午前11時15分

場 所：たつの市役所新館4階災害対策本部兼大会議室

出席者：委員11名、事務局

傍聴者：なし

1 会議内容

- (1) 委嘱状の交付
- (2) 市長あいさつ
- (3) 委員・事務局紹介
- (4) たつの市行財政改革推進委員会について
- (5) 会長及び副会長の互選について
- (6) 議事
 - ①行財政改革の取組と現状について
 - ②行財政改革推進実施計画の具体的取組項目について

【協議事項①】 行財政改革の取組と現状について（P3～8）	
事務局より、取組状況等の説明を行い、意見交換を実施。主な意見等の要旨は次のとおり。	
委員	女性職員の割合は。
事務局	全体に占める女性職員の割合は、約40%、管理・監督職に占める女性職員の割合は、約33%になります。
【協議事項②】 行財政改革推進実施計画の具体的取組項目について（P9～27）	
事務局より、行財政改革推進実施計画の具体的取組項目における取組状況を説明し、意見交換を実施。主な意見等の要旨は次のとおり。	
委員	市民病院機構の経営状況はどのようになっていますか。 以前は5億円ほど赤字が出ていたと思います。
事務局	地方独立行政法人移行前は、約5～6億円を一般会計から繰出していましたが、地方独立行政法人移行後は経営改善を図り、繰出基準の範囲内の約3億円の繰出しとなっています。 また、令和4年度の経常収支は、約2億円となっています。
委員	自主財源を確保するため、寄附を募っていますが、どのような方が寄附されていますか。
事務局	ふるさと応援寄附金は、主に市外の個人から寄附していただいております、寄附額に応じて返礼品を贈呈しています。 企業版ふるさと納税は、本社が市外の企業から寄附していただいております。 たつの未来基金は、市民や市内事業者等から寄附していただいております。

委員	<p>歳入の中で、市税と地方交付税は大きな割合を占めていますが、今後の見込みはどのようにお考えですか。</p>
事務局	<p>現在、市税と地方交付税は歳入の約3分の2を占めています。税については、国の発表があり、約71兆円と過去最高となっています。たつの市においても、増えている状況です。今後は人口減少に伴い、納税者数が減るため、楽観視できないと感じています。</p> <p>地方交付税については、国の骨太の方針において、令和4～6年度の地方の一般財源総額を令和3年度の水準並みに確保しようという方針が出ています。</p> <p>この方針に基づき、令和4～6年度の地方交付税についても、現在、普通交付税が約90億円となっていますが、この額が確保される見込みとなっています。令和7年度以降については、何も方針が出されておらず、今後の動向を注視する必要があります。</p>
委員	<p>歳入については、数年は大丈夫だということでしょうか、今後どうなるか分からないということでした。</p> <p>歳出については、人口減少に伴い少子高齢化が進行し、扶助費が増えてくる見込みがあると思います。その中で、歳入をどれだけ確保できるかが、行財政改革で重要な部分だと考えています。</p> <p>昨年度からたつの未来基金が創設されており、今年度は通学支援事業などに活用されていますが、今後どうやって、この基金の財源を確保していくか、寄附を集めていくかの方策が必要です。今後の展望を教えてください。</p>
事務局	<p>たつの未来基金は、令和3年度にお亡くなりになった、新宮運送の木南様から7,500万円の寄附をいただき、また、市から3,000万円プラスし、1億500万円で基金を創設しました。</p> <p>基金については、例年、毎年2,000万ほどの資金を活用させていただき、10数年継続させるという考え方を基に運営しています。</p> <p>ただし、活用するだけだと、基金が減り枯渇しますので、普通交付税の基準財政需要額の中に、人口減少に伴う需要額が算定されており、人口減少率を基に算定される額が3,000万ほどあるので、この分を基金に積み立てて、基金の総額を確保しながら、運用していこうという考え方のもとに、現在取り組んでいます。</p> <p>寄附の中には色々な種類があり、子育てや教育に使ってほしいなど、ご寄附いただく方の意思に基づいて、寄附される場合は指定寄附という形で、現在、市が行っている事業に充当する形をとっています。また、市民の皆さんに役立つのであれば、何でも良いので使ってくださいという場合は、一般寄附という形で承っています。</p> <p>一般寄附として寄附していただいた方に対して、たつの未来基金の趣旨を説明し、基金として活用することに承諾していただいた一般寄附については、たつの未来基金に積み立てています。</p> <p>寄附については、市ホームページに基金の種類などを紹介しており、寄附の意思のある市民等をお願いしている状況です。</p>
委員	<p>歳入について、他市の事例で多いのが、ネーミングライツです。</p> <p>例えば、光都では、サッカー場がダイセル播磨光都サッカー場として、太子町では、あすかホールを丸尾建築あすかホールとして、ネーミングライツが実施さ</p>

	<p>れています。</p> <p>ネーミングライツを実施することにより、企業はPRになり、自治体は財源を確保できます。</p> <p>市税や地方交付税以外の部分での財源確保ということで、ネーミングライツも考えていく必要があると思います。他にもクラウドファンディングを実施されている自治体もあります。市民と一緒にやっているとシビックプライドが醸成されていくと思います。</p> <p>ネーミングライツ、クラウドファンディングだけでなく、PPP や PFI についても実施すると良いと思いますが、実施するにはハードルが高いと思います。</p> <p>民間企業との連携について、今後もっと取り組んでいければ良いのではないかと思います。どのようにお考えですか。</p>
事務局	<p>ネーミングライツについては、市内の公共施設において、可能なものについては検討しています。</p> <p>現在、本市では、ホームページや広報誌に有料広告として、企業名を掲載しており、少額ですが、自主財源の確保につながっています。</p> <p>また、県庁では、エレベーターに企業の広告が掲示されており、参考にしていきたいと思います。</p> <p>PPP や PFI については、国の想定が人口約 10 万人以上の自治体を取り入れるべき事業手法となっていますので、検討はしますが、なかなか企業側の興味が沸かない、採算が取れないということがあります。</p> <p>そのことも踏まえ、今後検討できる部分については、検討していきたいと思います。</p> <p>企業側も地域貢献が活動目標として掲げられる時代ですので、連携しながら、より良い自主財源の確保を検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>観光分野になります。例えば瀬戸内 DMO であれば、せとうち観光活性化ファンドというものがあり、そのお金を使いながら、観光事業に取り組んでいます。市職員がこれだけ少なくなっている中で、人手の確保が難しい場合があります。</p> <p>専門職に頼んでいく必要があるかなとは思いますが、いきなり全部指定管理というのも良いと思いますが、せとうち観光活性化ファンドを使ってやっていたくなど、兵庫県が広域的に行っていますので、そういった資金源を基に、効果的な活動ができれば良いのではないかと思います。国や県、機構などの関係というのは、今後何か考えていますか。</p>
事務局	<p>県とは、万博の関係で、県が展開してるディスティネーションキャンペーンなどと連携を取りながら動いているように承知をしています。</p> <p>瀬戸内 DMO については、存在は知っていますが、その関係はどうなってるかというのは熟知しておりませんので、お答えはできませんが、瀬戸内ですと、新舞子浜や日本遺産もありますので、そういったところで連携ができるのであれば、当然そこは有効に活用していくべきだろうと思います。</p>
委員	<p>ふるさと納税について、洲本市など結局はゼロサムゲームで勝者なき泥沼みたいな戦いになっています。</p> <p>自治体としては、参入しないわけにはいかないというのは分かりますが、国が急にこの制度をやめたときに、返礼品の需要を当て込んだ事業者が急にはしごを</p>

	<p>外されて困るというリスクも考えられます。</p> <p>ふるさと納税が増えて良いという面はありますが、少し色々怖いなど思っています。</p> <p>先ほど、たつの市への寄附状況の説明はありましたが、流出状況はどうなっていますか。</p>
事務局	<p>ふるさと応援寄附金は、市外の方からたつの市に興味を持たれて、寄附していただくという制度で、令和4年度では約4億円の寄附をいただいているところです。</p> <p>一方で、たつの市民が別の自治体へ寄附し、たつの市の住民税の控除が約1億円あります。</p> <p>また、本市への寄附の半分を返礼品や手数料等の経費に充当しており、それらを差し引きすると、プラスとしては約1億円です。</p>
委員	<p>たつの市がプラスになっているということは、他の自治体が割を食っている制度ということになります。</p> <p>たつの市の場合は、地場産業の有力な所がたくさんあり、無理矢理、目立つ商品を作らなくても、例えばトイレットペーパーなど、生活必需品が注目されて、ものづくり豊かなまちの特徴を生かしていると思います。</p> <p>しかし、ふるさと納税に過度に依存することに対しては、返礼品の需要もですが、寄附金を自主財源にすることに、持続性があるか、5年10年は続くかもしれませんが、ロングスパンで見たときに心配していますので、ご参考にしてください。</p>
事務局	<p>本市の現状としては、寄附の約45%が関東圏域の方となっています。</p> <p>日本全体でいうと、世田谷区は地場産品がない上に、高額所得者が多いエリアなので、住民税が約97億円流出しているデータがあり、儲かっている自治体と損している自治体があります。</p> <p>国の基準では、1万円の寄附に対して返礼品は3千円までですが、洲本市については、表面上は30%で、残り20%は別の手当で支出しており、寄附に対して50%を還元する形にしていたようです。</p> <p>結果的にこのことなどを踏まえ、委員が心配している制度自体の存続についてですが、国も早速動き、全体経費として、広告、返礼品、人件費など全ての経費を50%以内にしろという通知が既に出ています。</p> <p>その通知内容が、今年10月から適用されるので、国も制度の健全運用を図るべく改正しています。</p> <p>本市も当然、過剰な返礼品はこれまでもしていませんが、適正な範囲の中で、やっていきたいと考えています。</p> <p>また、ふるさと納税に過度に依存してないかということですが、一般会計の歳入が約300億円に対し、ふるさと納税のプラスは1億円ぐらいなので、そんなに依存している比率ではないと考えています。</p>
委員	<p>別件ですが、PFIや指定管理については、この会議でよく話題に挙がりますが、人口10万人未満の自治体ではなかなか難しいと思います。</p> <p>サービス業関係の指定管理で言いますと、新聞報道によるとたつの市にコストコができるらしいです。コストコは非常に待遇が良い企業で知られており、最低</p>

	<p>賃金が兵庫県で 960 円、大阪府で 1,023 円の中、コストコほどの県に立地しても最低 1,500 円を支払っているそうです。</p> <p>もし、龍野インター近くに立地し、300 人程度の新規雇用が生まれたときに、雇用吸収力はすごいものがあると思います。</p> <p>指定管理制度を活用して、公共施設を預けたいとか、民間企業として、新しい商売を始めたいと思っている方が、人材を確保できるかという問題が起こり得ます。</p> <p>たつの市民にとっては、買い物が便利になり、働く場所ができるということで、うれしいと思いますが、事業者にとっては、脅威かと思いますので、今後指定管理者制度に移行したいと考えている場合、絵に書いた餅になりかねません。</p> <p>極端に言うと、市役所の会計年度任用職員についても、時給 1,500 円がもらえるのであれば、ジーンズで働ける方を選ぶのではないかと、という危惧も持っておりますので、合わせてお伝えします。</p>
委員	<p>10 ページの戦略的広報の推進について、たつの市の SNS において、LINE はおそらく市民向けの発信になっているのかなと思いますが、YouTube やインスタも含めて、たつの市民向けなのでしょうか。それとも、市外の方に観光などで来ていただくために発信されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>LINE については、主に市民向けの情報として、広報誌の発行のお知らせや税金の口座振替案内、イベントなどの情報を案内しています。</p> <p>Facebook、Instagram、YouTube については、市民以外の方も含め、本市の魅力を発信しています。</p>
委員	<p>たつの市の YouTube を拝見しましたが、観光客向けに、大まかに紹介されており、例えば、桜まつりや武者行列などの一部分だけが紹介されていたので、本当に推していきたい部分だけを集め、特化した動画として発信する方が受け手にとって分かりやすいのかなと感じました。</p>
委員	<p>SNS について、同じ感じになりますが、私は広報誌を紙で見えており、多くの情報が得られますが、子育て世代のお母さん方に聞くと、市外から転入された方は、紙の広報誌を見ない方が多く、ペーパーレスの時代なので、SNS を活用していった方が、見やすく、いつでもどこでも見られるので良いと思います。</p> <p>ただし、今の広報誌は、市職員の方が頑張って作成してくださっている中で申し訳ないですが、情報量が多くて、気軽に読んでみようという感じにはなれません。</p> <p>市民が自分たちの住んでいる地域を良くしていこうと思えば、市民がもっと市政に対して、意識を持たなければならないと皆さん思っていますが、取っかかりが広報誌などを見ながら始まっていくのかなと思いますので、もう少し柔らかいニュアンスや見やすく取っつきやすい感じのものがあるとうれしいなと思います。</p> <p>また、SNS において、イベントのライブ配信や期間限定配信での発信があっても良いのではないかと思います。</p> <p>たつの市は、南北に広く、新宮町の住民、特に高齢者は御津の情報が入らなかつたりするので、飲食店等の情報発信があれば、今度家族で行ってみよう</p>

	<p>となるのではないかと思います。</p> <p>行政の取組は、お金のことも関わってくるので、堅いイメージがあります。情報発信するときは、専門用語をできる限り使わずに分かりやすい言葉で説明していこうという方針があると、もう少し身近に感じられるかなと思いました。</p> <p>今回、初めて会議に参加させていただき、改めて市政を考える機会にもなりました。市民が考えるだけでも変わっていくと思うので、市民が考えるきっかけとなるような広報、情報発信をしていただけると嬉しいなと感じました。</p>
事務局	<p>広報誌については、役所の広報ということで、ご意見のとおり、堅苦しい言葉になっているところもあり、情報が間違っ伝わらないようにという思いでお伝えしています。読み手と書き手（提供する側）とのギャップはあると思います。</p> <p>先日、神戸新聞社の直江委員に広報研修をしていただいていますので、ご意見も踏まえ、今後に繋げていければと思います。</p> <p>Instagram や LINE などの SNS については、特定の年代に刺さるというか、ある程度その属性に応じた発信方法になっています。</p> <p>種類に応じた内容にするのか、全般的にするのはやはり広報誌で全ての情報をお知らせするのが第一義的な話になってくると思いますので、表現方法や紙面構成は工夫する中で、ボリュームは10日の全体版と25日のお知らせ版に分けて発行していますので、工夫できるところは考えていきたいと思っています。</p> <p>Instagram などの SNS については、それぞれの普及の度合いもありますので、状況に応じて考えていきたいと思っています。</p>
委員	Instagram などは、今は誰が掲載されていますか。
事務局	基本的に掲載内容を考えるのは担当課になりますが、広報秘書課が取りまとめて、市として統一的な表現等に校正して掲載しています。
委員	<p>市民の方から情報をいただいた内容を掲載することはありますか。</p> <p>市役所の方が実際に取材等をされた内容を関係部署が記事にしているということでしょうか。</p>
事務局	<p>市が実施している事業などを掲載、発信している形のみで、市民からの情報については掲載していません。</p> <p>市民の方に情報提供いただき、例えば、お店の紹介を発信するということですか。</p>
委員	<p>例えば、公募の形で情報を募集し、様々な年代から自分のおすすめなどを聞いてみて、市民と一緒に考えて掲載、情報発信できると良いのではないかと思います。</p> <p>Instagram も若者だけでなく、幅広い年代の方が使用していますので、市民に幅広く聞いていければ、たつの市のアピールが違う角度からできるのではないかと思います。</p>
事務局	シティプロモーションが重要になる中で、Instagram のフォロワー数も増えている状況ですので、最大限活用し、たつの市を市内外に向けて PR していきたいと思っています。
委員	先日僭越ながら研修講師を務めさせていただきましたが、要するに、新聞記者は新しい・珍しい・面白いというものを大事にしており、何を考えてるかということを知りたいとお話したつもりです。

	<p>私が書いている記事が分かりやすいかというのは読者の皆さんの批判にお任せしますが、委員のご意見の飲食店の話は、記事にしても大変反響があります。</p> <p>例えば、くりすチェスナッツというお店が開店し、記事にした途端、国道に車が溢れて、警察に怒られるくらいだったそうです。新聞で飲食店を取り上げる際には、プラスアルファ何かその社会性やニュース性が必要で、あの店であれば、栗栖という、栗に所縁のある地区で栗を使い地産地消を目指しているというお話だったので、新聞に取り上げることができました。</p> <p>行政については、更に、数多ある民間のお店のどこかを紹介するという事は、行政の仕組みとして多分すごく難しいんだろうなと思います。</p> <p>そういう状況なので、最近観光協会でインスタ映えを狙った SNS の展開をしておられて、観光協会の会員さんはかなりたくさんあるので、そういったところで切り分けていくのかなと思います。</p> <p>それとは別に、広報発信を堅苦しくしないで欲しいというニーズに対しては、行政側も真剣に答えなくてはいけないと思います。</p>
事務局	<p>広報誌については、先ほど申し上げたように、読んでいただきやすい形になるよう取り組んでいきたいと思います。</p> <p>また、たつの市観光協会のホームページもありますので、利用していただけたらと思います。</p>